

Ⅲ 学校運営協議会 令和８年度の記録

(様式第４号)

学校運営協議会 会議概要

1	会議名	第1回 学校運営協議会				
2	日時	令和8年4月8日 午後6時から午後 時 分まで				
3	会場	浦里小学校 音楽室				
4	出席者	井澤良夫会長、小泉雅彦副会長、安齋理江委員、大矢美穂委員 南波武男委員、井澤誠委員、池田志緒委員、藤森東委員				
5	市側出席者	酒井秀樹教育長、渡辺太輔学校教育課長、川俣将人学校教育担当係長				
6	公開・非公開等の別	公開	・	一部公開	・	非公開
7	傍聴者	なし				
8	会議概要作成年月日	令和8年4月10日				
協議事項等						
<進行：教頭> 1 開 会 2 教育長挨拶 ※教育長の到着遅延により4の委員委嘱後に実施 皆様のご支援により7年度の浦里の教育活動も充実。日々の尽力に感謝。昨年の運動会前に学校を訪問時、集団になかなか入れない児童に対し、気付いた先生がふと近くによって下さり、その後はまた別の先生が接してくださり、無事大玉送りの練習に参加できる場面があった。本来学校で大切にすべきものが見えた場面だった。学ぶは「まねぶ」に語源があり、まねしたくなる姿を大切にしたい。今年度、子どもたちからの提案が資料にもあり、初めて見る素晴らしい試み。お助け隊の活動記録も、学校との繋がりが見えるものである。今年度も浦里小の子どもたちがわくわくできるようにしていきたい。 3 学校運営協議会設置校の指定 上田市教育委員会より指定を受けた 4 学校運営協議会委員委嘱 上田市教育委員会より各委員へ 5 学校運営協議会規約確認 事務局より説明 守秘義務についての確認。議事録のHPでの公開についての確認。 6 学校運営協議会委員の自己紹介 (井澤良夫からさんから順に) 7 正副会長の互選 会長 井澤 良夫委員 副会長 小泉 雅彦委員 ※小泉さんからは安齋先生を推す提案もあり 8 正副会長挨拶						

会長：みなさんのお力をいただきながら一年進めていきたいと思います。
副会長：新任で副委員長という立場ですが、浦里がコミュニティスクールになる際には一番関わっていた立場で、当時は教育長ともたくさん話し合い、現在のコミュニティスクールとしての浦里小になりました。これからよろしくお願いします。

9 令和8年度 学校運営の基本方針の説明と承認

学校長：今年度で第6期となる。「人は人を浴びて人になる」を大事にやっていく。「自分のよさを切り拓く子ども」を子どもたちは大事にしていきたい。今日は4年生のお花見給食にご一緒し、少し会話の間が空いたときに「俳句をしましょうか」と言い出した児童がおり、即興で詠んだりしてみた。学んだことをすぐに別の場面で使ってみようとする素敵な場面だった。このようなことから、対話的・主体的な深い学びに繋げていきたい。

今年度は「やってみよう・それもいいね」を合言葉に、グランドデザインにも記載のある4つの要素を大事にしていきたい。（グランドデザイン「目指す子ども像」を参照）

I C Tの有効利用の一環として9月に遠隔教育を用いた公開授業を行う予定。これにより多様な人とのつながりのある深い学びにつなげていきたい。

以前子どもたちで話し合った学校をよくする会議では「全校が仲良しな学校」を目指したい子どもたちの思いが見えた。

「浦里小をもっとよくする会2026」では、実際に子どもと地域、職員が一つになって考え、意見し合う場面があった。互いが繋がる良い会になった。

自分の話はグランドデザインに集約されてる。

今年度から学級減により職員も1名減になっていることについて。

特別支援学級が6年生1名ということもあり、このまま卒業した場合は来年度にはまなび学級もなくなり、さらに職員も減ってしまうことが考えられる。

職員校務分掌についての説明

会長：質問などありますか。（質問なし）

<承認>

会長：承認ということで、（案）を消してください。

10 コミュニティ・スクール浦里小の目指す方向、あり方について

事務局：昨年度よりコミュニティスクール実践目標を変更。メディアコントロールデーについての取り組みも児童がとても意欲的。お手伝いの時間に充てたり、時間を決めて取り組もうとする姿が見られたりした。お助け隊と児童が昨年から名札をつけて活動に取り組むようにし、個々の名前を知れるようになり、挨拶の頻度も増えてとてもよかった。

見守り隊の方から「おはよう」だけで終わらない挨拶になるといいなという意見が出て取り組んでみている。子どもとの関わる時間がもっと増えたらよい。

「もっとよくする会」のネーミングも子どもからの発案で、子どもももっと学校をよくしていきたい思いがある。今年度は11月のPTA講演会で長野大学の早坂先生に講演に来ていただき、親子・地域揃って参加を考えている。

身近な大人を目標にする子が多く、昨年は「将来はお助け隊の人みたいになりたい」と、地域のごみ拾いを実施した。メロン栽培もビニールハウスを学校の中庭に建てたり、育てたりんごをもっといろんな人に伝えたいと、アリオでのリンゴ販売も行ったりした。

今年度空く1年教室を「コミュニティルーム」として地域の方との交流の場にも使っていきたい。

昨年度から草取りの時間を子どもや保護者にも参加してもらってお助け隊のみなさんと一緒に取り組み、お助け隊のみなさんの思いを感じることができた。学校に花がたくさんあることにも気づき、蝶がたくさん来てえさにパンジーを取ったり、蝶にとっても詳しくなった事例も。今年もすでに池に足をはめてびしょ濡れの子もいたが、それも楽しんで「またやりたいな」という声も。今の浦里の素晴らしい環境で子どもの生き生きとした姿が見られている。

会長：質問はありますか。

会長：お助け隊が休める部屋が今までなかったので、コミュニティルームのアイデアはとてもありがたい。フジバカマは植えましたか？アサギマダラは？

事務局：すでに植えていて、たくさんのアサギマダラが来ていた。捕まえるのはなるべくやめるよう伝えている。マーキングをどうしているのかも今後見られるといい。花作り隊のみなさんの作業後のお茶会の会場にして子どもと交流もできたらいい。

副会長：3年生にごみについての掲示を作ってもらい、阿鳥川で不法投棄があったのだが実際に地区のごみ捨て注意の掲示とともに貼ったところ、効果が出ている。

事務局：ぜひ子どもたちに伝えたい。

事務局：小泉強さんの後任について。コスモスやこまゆみ教室で指導して下さる方がいらっしゃったら教えてほしい。

副会長：コスモスについては指導して下さる方がいる。こまゆみに関しては強さんが時計は中国のメーカーに発注し、木材は材木をご自身で加工してくださっていた。手伝うことはできるが、代わりに指導することは難しい。

会長：こまゆみについては心当たりがあったらお知らせしたい。

1 1 運動会について

事務局：組体操を全校で合わせた表現にしたい。全校での水くみリレー、前後半で抵高学年で行う玉入れを行いたい。子どもの休憩がなくなってしまうので、大人だけでひもむすびリレーをしたい。来入児種目は年長問わず参加可能。なかよし種目として、借り物競争を取り入れる。

P T A会長：日付の訂正を指摘（5月30日が正式）

1 2 その他

・

事務局：こまゆみ教室について、長野大学の学生の活動を引き続き。中高生のスタッフの参加も今年度も視野に入れ、既に希望者もいる。中高生と大学生の交流から将来のキャリア形成にも繋がる貴重な機会になることが期待できる。中学生は特に小学生と近い目線でいろいろと考えられる。卒業生にとっても「帰れる場所」にできるのでは。

質問はとくになし

1 3 全体を通して

教育長：次回の予定について確認。

1 4 閉会の言葉

次回は、第2回7月17日（金） 開始時刻は午後6時